

令和5年度 第1回 首里城復興推進本部会議

日時：令和5年7月18日（火）11:00～12:00
場所：6階第2特別会議室
進行：土木建築部 首里城復興課

次 第

1. 開会

2. 報告

- (1) 首里城復興への取組状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- (2) 首里城復興への寄附金活用の取組・・・・・・・・・・・・・・・・ 25

3. 議題

- (1) 令和5年度首里城復興基本計画推進事業（案）・・・・・・・・ 別添資料
- (2) 第32軍司令部壕保存・公開基本方針（案）・・・・・・・・ 45

4. 閉会

報告事項 I

(I) 首里城復興への取組状況

首里城正殿等の復元に向けた工程表

(年度)

		R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9 以降	
正殿	材料調査 (大径材)		市場調査								
	設計		基本設計	実施設計							
	材料調達 (大径材)			調達	乾燥						
	工事		仮設道路 がれき撤去	木材倉庫	発注手続(WTO)		本体工事				
北殿、南殿等			撤去	正殿復元の施工ヤードとして使用							
			検討	-----						工事	

首里城ドローン写真 (令和元年11月1日時点)

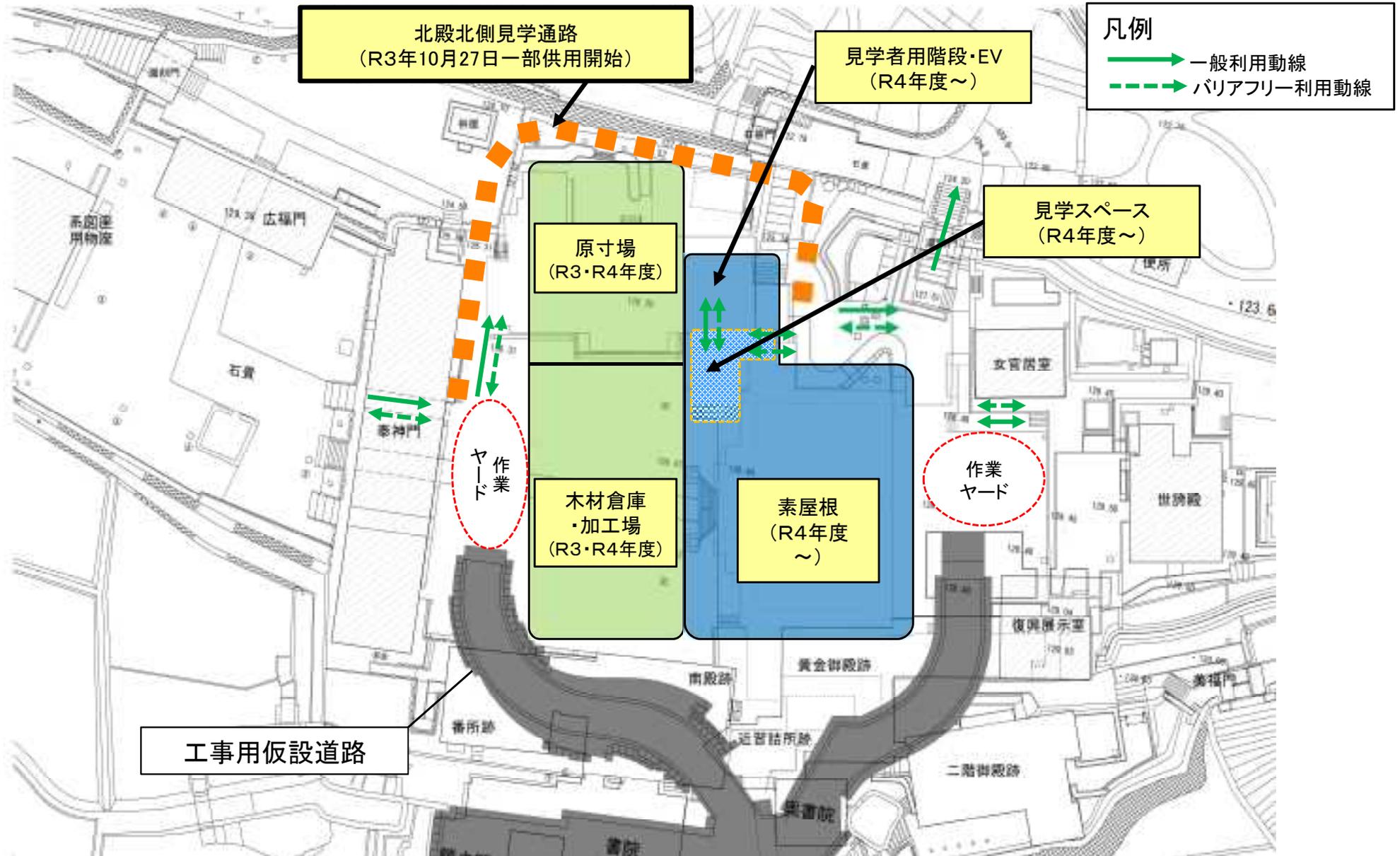


令和元年10月31日未明に発生した火災により、9棟の建物が被災(全焼:7棟、一部焼失:2棟)。

首里城ドローン写真 (令和5年3月16日時点)



R3年度以降の木材倉庫等仮設施設の整備について



正殿復元に向けた仮設施設の整備について(CGイメージ)



北殿北側見学エリアの整備（R4年10月1日供用開始）

木材倉庫の令和4年9月末完成にあわせて、令和3年10月27日に供用開始した北殿北側見学通路(仮設デッキ)に新たな見学エリアがオープン。本見学エリアでは、原寸場内で作業する職人の様子が間近で見られるほか、デジタルサイネージによる正殿復元の工程等の解説や木材倉庫等の解説展示等を設置している。



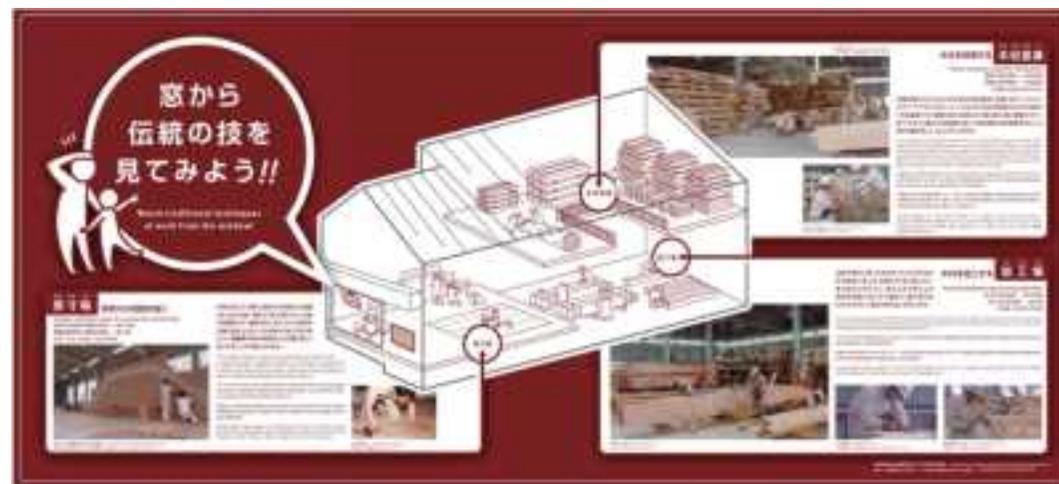
北殿北側見学エリア(全景)



原寸場横の新たな見学エリア



原寸場内の様子を見学可能に



現場での展示サイン

全体概要：首里城復興基本計画(R3.3)の基本施策



策定の趣旨

「首里城復興基本計画」は、基本方針で示した主な施策について、具体的に取り組む際の方向性を体系的に定め、首里城復興を計画的に推進することを目的としている。

また、県民はじめ多くの人びと、企業・団体等及び行政・大学・関係機関等が、復興基本計画を共有することで、20年、50年先などの未来を見据え、連携・協働して、首里城に象徴される沖縄の歴史・文化の価値を確実に次世代へ継承し、それぞれの時代にふさわしい新たな文化創出など沖縄発展の礎として首里城復興に一体的かつ継続的に取り組んでいく。

計画の位置づけ

本復興基本計画は、令和4年(2022年)度を始期とする新たな沖縄復興計画の実施計画において、首里城復元はもとより、首里城に象徴される歴史・文化の観点から沖縄振興を目指す施策のマスタープランとなるものである。

首里城復興が目指す将来像

首里城に象徴され、古より体験・継承している歴史・文化を基盤として、ふるさとへの誇りや愛着を感じられる社会が形成されるとともに、その時代に生きる私たちがそれぞれの挑戦を遂げて多様で重層的な沖縄振興が果たされている。

そして、これらが積み重なって沖縄の新たな歴史・文化が創造され、これらが基盤に加わることで、さらに発展していく社会を目指す。

基本施策	施策展開	主な担当部局
1. 正殿等の早期復元と復元過程の公開	(1)伝統技術を活用した施設整備 (2)木材、瓦等の調達に向けた取組 (3)復元過程の公開による観光資源としての活用	土木建築部
2. 火災の原因究明及び防火設備・施設管理体制の強化	(1)再発防止に向けた防火設備等の強化 (2)安全性の高い施設管理体制の構築	土木建築部
3. 首里城公園のさらなる魅力の向上	(1)国営・県営区域の一体的利用 (2)多様で柔軟な施設の活用	土木建築部
4. 文化財等の保全、復元、収集	(1)首里城跡の適正な保全と価値の周知 (2)文化財等の復元、修復及び収集	文化観光スポーツ部 教育庁
5. 伝統技術の活用と継承	(1)伝統的な建築技術の活用と継承 (2)美術工芸における伝統技術の継承	商工労働部 土木建築部※1 文化観光スポーツ部 教育庁
6. 「新・首里杜構想」による歴史まちづくりの推進	(1)歴史を体現できる風格ある都市空間の創出 (2)首里城公園及び周辺地域の段階的整備 (3)交通環境の整備	土木建築部
7. 歴史の継承と資産としての活用	(1)多様で魅力ある観光資源の活用 (2)平和を希求する「沖縄のこころ」の発信 (3)次世代を担う子どもたちへの継承	子ども生活福祉部 文化観光スポーツ部 商工労働部 教育庁
8. 琉球文化のルネサンス	(1)多様性・独自性を持つ琉球文化の再認識 (2)琉球文化の復興と新たな文化の創出 (3)国内外へ向けた琉球文化の発信	文化観光スポーツ部 商工労働部 教育庁

※1首里城未来基金を活用した人材育成をR5から開始

首里城復元・復興に向けたスケジュール（県）

R1年度 (首里城焼失)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	...
-----------------	------	------	------	------	-----

首里城復興基本計画(R2年度策定、対象期間 R2～R13年度末まで)

火災再発防止検討

(首里城火災に係る再発防止検討委員会運営 等)

首里城公園管理体制構築検討

(首里城公園管理体制構築検討委員会運営、首里城公園管理体制構築計画策定 等)

新首里杜構想に基づく首里城周辺の歴史まちづくり等推進

(首里城復興基本計画内に新首里杜構想を策定、首里杜地区整備基本計画策定、首里杜まちづくり推進協議会運営 等)

中城御殿跡地整備検討

(中城御殿跡地整備検討委員会、中城御殿整備基本計画改定 等)

首里城復興基金への寄附金受入
(焼失施設等の復元)

首里城未来基金※への寄附金受入
(人材育成、周辺施設整備)

※正式名称／首里城歴史文化継承基金

寄附金を活用した城郭内施設等の復元(首里城復興基金事業)

(木材・赤瓦の調達、扁額・制作物の復元、復元に係る各種委員会運営 等)

寄附金を活用した人材育成の推進
(首里城歴史文化継承基金事業)

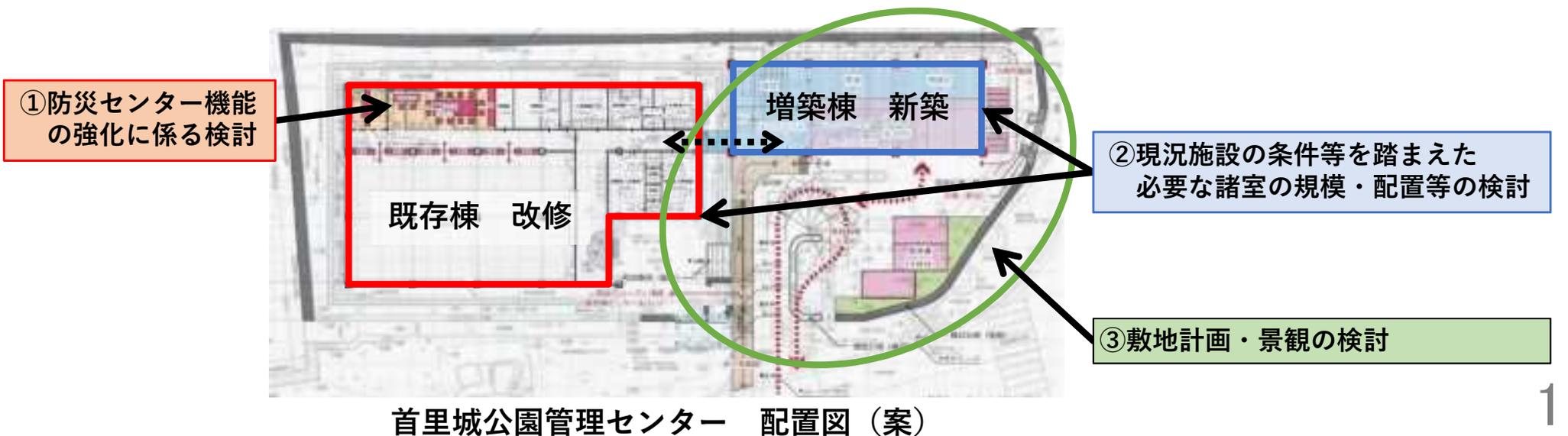
見せる復興の推進(復興イベント、情報発信、破損瓦利活用等)

(ナイツタイムコンテンツ・ものづくり体験・地域交流に係るイベント実施、復興サイト・SNS運営、破損瓦利活用した取組の推進等)

首里城公園の管理体制構築「公園管理センターの増築・改修」

令和3年度の検討を踏まえ、令和4年度は、公園全体の統括機能の強化に向けて、**首里城公園管理センターの増築・改修の基本設計（景観検討を含む）**を行った。

年度 取組	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)
管理センター 及び首里杜館 の増築・改修	整備方針	基本設計 管理センター の基本設計 (景観検討を含む)	実施設計 管理センター及び 首里杜館の 実施設計 (建築審査会等を含む)	増築・改修工事 管理センター及び 首里杜館の 増築等工事 (国営公園との連携構築に 伴う設備等を除く)	工事 国営公園との連携構築に伴う 設備等の整備 (城郭内の情報を奉神門以外への共有)	
防火設備等 の整備 火災受信機 監視モニター 放送設備 自家発電設備	防災センター機能 の向上の考え方	詳細検討 正殿単体完成時に向けた 防火設備等の課題の抽出 防火設備等の 詳細検討 ※国と県の役割分担等を含む	基本設計 防火設備等の 基本設計等	実施設計 防火設備等の 実施設計等 全体基本計画を 反映	工事 火災受信機、監視モニター、 放送設備、自家発電設備等の 整備	
	復元基本方針	※国の検討	全体基本計画			



既存棟の配置計画

- ・ 首里城公園管理センター内に防災拠点スペースを設け、城郭内外の情報の集約と発信に対応できる防火設備等を集約した配置とする。

増築棟の配置計画

- ・ 必要諸室面積を確保しつつ、周辺景観を考慮して県道50号線側からできる限りセットバックした配置とする。
- ・ 駐車・駐輪スペースを最小限に抑えて、既存植栽帯を活かし、現在の緑の景観を保持するように計画する。

建築計画

- ・ 増築部分は、地下1階・地上2階建てとする。
- ・ 既存棟と屋根葺き方や屋根勾配を統一する。

立面計画と施設の色彩の計画

- ・ 既存管理棟と渡り廊下でつなぐ増築部分であることから、施設全体として外観の一体感を持たせるため、既存管理棟と同様の仕上材とし、腰壁(厚30杉板張り)や巾木(琉球石灰岩)の高さを既存施設と揃える計画とする。

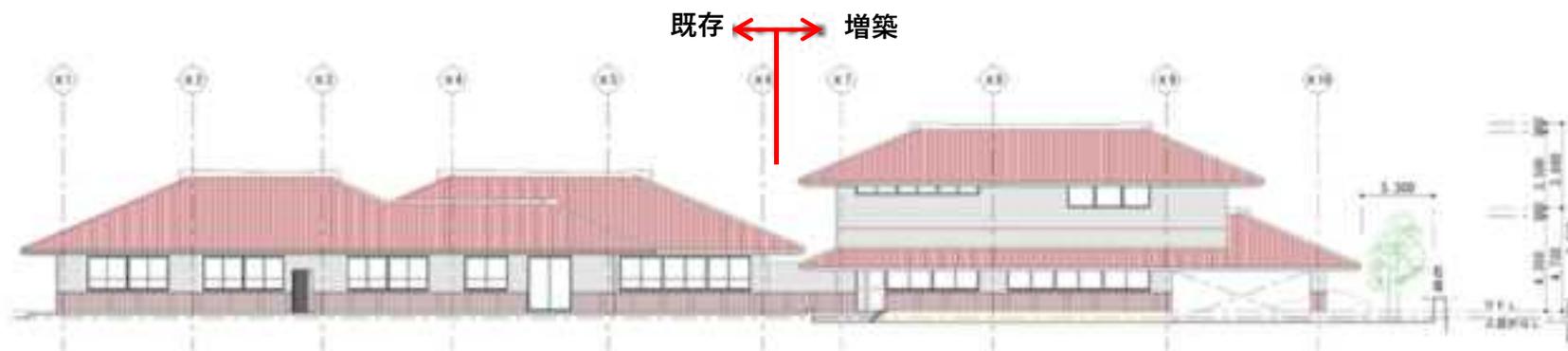
<参考> BIMソフトを用いた3Dパース



管理センター北東側(交差点)※鳥瞰



管理センター北東側(出入口)



既存 ← → 増築

東側立面図 No Scale

中城御殿跡地整備の概要

【施設概要】

王国末期から戦前に至る王家ゆかりの屋敷で竣工間取図などの復元（再現）を可能とする根拠資料が存在する。

【事業実施場所】

旧県立博物館跡地（首里城公園（県営区域）内）

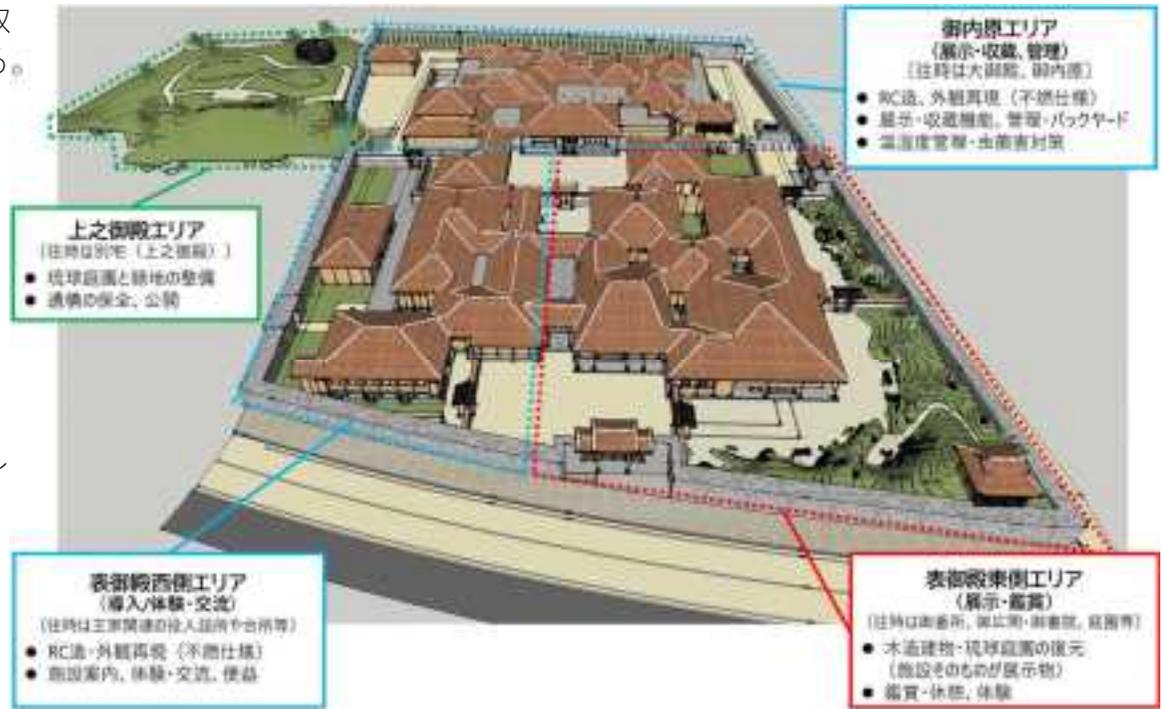
【規模・総事業費】

敷地面積：約11,330㎡
延べ床面積：約3,870㎡（RC造3,030㎡、木造840㎡）

【令和3年度整備基本計画改定の概要】

- ・首里城復興基本計画を踏まえ主に以下の項目を見直し
- ①展示収蔵計画の拡充見直し（美術工芸品の保存管理）
- ②施設全体の防災・防火対策の強化
- ③公園全体の一体利用、魅力向上に資する利用の拡充

中城御殿イメージパース



【中城御殿整備スケジュール（案）】

項目	事業	令和3	令和4	令和5	令和6	令和7	令和8	令和9	令和10	令和11	令和12	令和13
		2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031
城郭内	正殿復元	実施設計	発注手続 (W/O)		工事	正殿完成						
	松崎馬場など臨海周辺整備		松崎馬場など臨海周辺整備 調査・設計		工事					公開（供用開始）		
中城御殿	【第1期工事】上之御殿（庭園・広場）		上之御殿 設計	工事						公開（供用開始）		
	【第2期工事】御内原・表御殿西側（RC造）		御内原・表御殿西側 設計		工事					公開（供用開始）		
	【第3期工事】表御殿東側（木造復元）					表御殿東側 設計						木村調査、本体工事

首里まちづくり研究会作成パース



中城御殿の家門（正門）那覇市歴史博物館



中城御殿上之御殿エリア（第一期工事 R5～）の整備方針

往時の立岩周辺の写真



遺構写真（上之御殿庭園遺構）



整備計画イメージパース



北側アプローチ

- ・上之御殿エリアからの緊急時避難経路として、北側に階段を設ける。
- ・階段及び擁壁の外観は、中城御殿の景観に馴染む仕上げを行うものとする。
- ・発掘調査にて遺構が検出された場合は、検出遺構を基に計画を見直すものとする。

西側の段差

- ・エリア西側の石積み遺構等は保全する。
- ・段差があった往時の地形（段差）を表現するため、新規石積を設置する。

園路・植栽

【園路】

- ・来訪者が自由に空間を味わう広場とし、園路は整備しない方針とする。

【植栽】

- ・遺構が確認されている旧階段や庭園周辺などのエリア（南側・東側）は抑制的な植栽とし、新たな擁壁や造成を行うエリア（西側・北側）は修景植栽や遊蔽植栽を検討する。

庭園遺構

- ・上之御殿庭園は、将来の文化財指定の支障とならないよう、整備は最小限とする。

立岩（ガジュマルの拜所）周辺

- ・整備の根拠となる資料が少ないため、今回は復元的整備は行わないものとし、外周に来園者の安全や遺構保護を目的とした進入禁止柵を設置する。

東側の石積

- ・東側の残存石積は、修理し、活用する。
- ・石積がない箇所は新たに石積擁壁を整備する。外観の仕上げについては景観に馴染むよう配慮する。
- ・石積の高さは、古写真の分析等により推定する。

石階段

- ・遺構を修理し、活用する。
- ・広場の計画高にあわせるため、旧階段と同様な段上と踏み幅の階段を新たに2段設置する。

松崎馬場跡の整備方針

- 首里城正殿及び中城御殿の整備工程を踏まえ、令和8年度までに松崎馬場の空間を整備する。
- 宿道上の遺構の保全、公開、活用等の方針は中長期的な視野で検討するため、遺構の真上を避けた位置に園路を整備する。

【園路整備の方針】

- ① 園路(宿道)は、令和8年度までの供用開始に向け暫定的なルートでの整備とする。
- ② 園路整備では、中城御殿と公園中心部を結ぶ来園者や管理車両等の通行機能を確保する。
- ③ 園路は、師範学校時代の石垣や芸大石積を迂回したルートとする。
- ④ 園路整備にあたっては、宿道(松崎馬場)の歴史的風致景観や世持橋からの景観に留意する。
- ⑤ 園路幅員は、試掘調査で検出された宿道遺構の舗装幅員の4.0mを基本とする。
- ⑥ 園路沿いで転落の恐れのある箇所については、安全対策を講ずるものとする。
- ⑦ 園路沿いの芸大境界側には築山・植栽帯を設け、芸大駐車場からの雨水等を受ける側溝を設ける。

【広場整備の方針】

- ① 利用者の休憩や歴史学習への活用を想定し、国学・首里聖廟石垣前と松崎(龍潭突出箇所)付近、園路中間付近に広場を配置する。
- ② 周辺施設の景観や遺構に留意するとともに、広場の機能を考慮した整備を行う。



松崎馬場植栽等計画図



松崎馬場のイメージ

出典：NPO法人首里まちづくり研究会ホームページ



『中山傳信録』の「重陽宴図」(1719年冊封)
琉球大学



龍潭の一角 (明治34年発行 日本名勝地誌)
那覇市歴史博物館

首里杜地区整備基本計画（令和4年4月策定）の概要

○目的

首里城復興基本計画の基本施策に位置付けられた「新・首里杜構想による歴史まちづくりの推進」を目的とし、首里杜地区の目指す姿や具体的な施策などを取りまとめた計画である。

○計画期間

- ・計画期間は、令和4年度から令和13年度までの10年間とする。
- ・正殿完成予定の令和8年度までを前期5年、以降を後期5年とする。

○計画の特徴

計画の各取り組みについては、具体的なロードマップを整理している。また、多様な主体が連携して効果的なまちづくりを行えるよう、テーマやエリアごとに関連する施策や事業をパッケージ化した点が特徴である。



○計画の推進体制

令和4年度に、有識者、行政関係、地域団体、関係事業者等で構成する「首里杜まちづくり推進協議会」を設置し、計画の進捗管理や改善を実施予定。協議会では、県、那覇市、地域団体の三者にて事務局を担い、計画の実現に向けた推進体制を構築することとしている。

○取り組みロードマップ（一部抜粋）

方針	中項目	小項目	取り組みNo	継続 or 新規	事業	事業主体	2026(令和8)年 首里城正殿完成予定					
							前期(5年)					後期(5年)
							2022年度 令和4年度	2023年度 令和5年度	2024年度 令和6年度	2025年度 令和7年度	2026年度 令和8年度	2027~2031年度 令和9~13年度
(1) 古都首里を感じられる空間の創出	① 古都首里を感じられる良好な景観形成の推進	景観に配慮した良質な公共空間の創出	4	継続	無電柱化推進事業（県道49・50号線）	県(道路管理課)				設計	工事	
			5	継続	公共事業における景観アセスメント	県(都市計画・モノレール課)						
		③ 共創の景観まちづくりの推進	地域人材の育成	11	継続	沖縄らしい風景づくりに係る人材育成	県(都市計画・モノレール課)					
(2) 歴史文化資源等の保全・整備・活用	① 幅広い歴史文化資源の再評価と保存・活用	推進に向けた調査・計画の策定	15	新	第32軍司令部壕保存・公開	県(女性力・平和推進課)						
			16	継続・新	中城御殿跡地整備	県(首里城復興課・都市公園課)	設計					
			17	継続	円覚寺三門復元工事	県(文化財課)						
			18	継続・新	龍潭周辺整備(松崎馬場、世持橋等)	県(首里城復興課・都市公園課)	調査・設計					
	20-1	新	指定文化財周辺の環境整備(南城郭、継世門等の修復保全)	県(文化財課)								
	③ 歴史文化資源の魅力向上・活用や新たな資源の創出	地域と協働による新たな文化資源の創出	21-1	新	地域資源の調査及び修景等	県(首里城復興課)						
		主要渋滞箇所の対策	22	継続・新	渋滞ボトルネック対策	県(道路街路課)						

首里杜まちづくり推進協議会（令和4年9月設立）の概要

首里杜まちづくり推進協議会【設立総会】

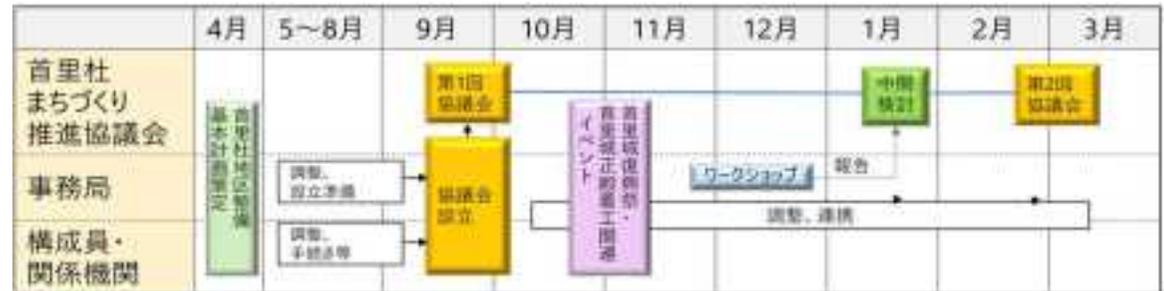
日時：2022年9月21日（水）14時～

場所：首里公民館



令和4年度の活動概要

- ①各主体が進める事業の内容確認／進捗確認
- ②協議会の体制のあり方の検討
- ③「首里杜地区交通・観光マネジメント計画（骨子案）」の検討
- ④首里杜地区のまちづくりや協議会に関する情報発信



事務局体制

地域事務局を首里杜まちづくり団体連絡協議会、市事務局を那覇市都市計画課、県事務局を沖縄県首里城復興課に設置し、協議会の調整やとりまとめを行う。

構成員分類	構成員	
(1) 地域	地域住民・団体 など	首里杜地区まちづくり団体連絡協議会
(2) 事業者	地域に所在する観光・商工・交通に関連する事業者、NPO、社団法人 など	首里染織館suikara
	バス・タクシーなど公共交通関連事業、観光DXなど関連テーマを推進する団体・事業者 など	S C S K株式会社
(3) 学術機関、専門家、団体	地区や取り組みに関連する学術機関や専門家グループなど	国立大学法人 琉球大学
(4) 行政	国、県、市	那覇市
		沖縄県
		国（沖縄総合事務局）
(5) その他必要な構成員	首里城公園管理者 など	一般財団法人 沖縄美ら島財団

首里杜館ガイダンスホールの改修について（2）



インタラクティブプロジェクションマッピング
D3-2/床面投影プロジェクター



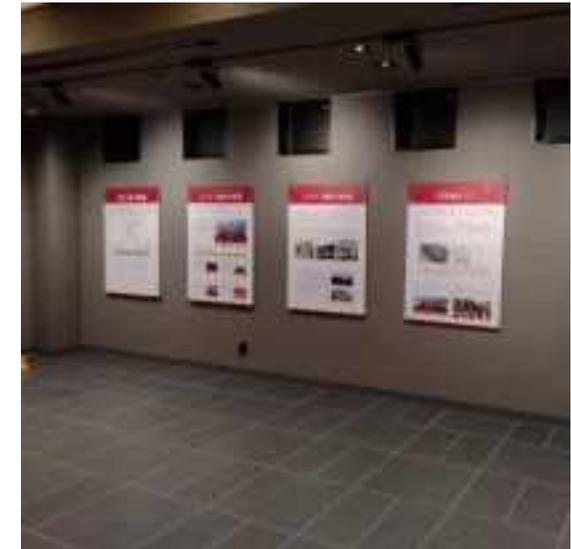
王都首里街並復元模型/解説動画等
D5/100型モニター(2台)



サイン/守礼門方向への誘導
D2-2/3Dホログラム



街並模型への誘導
D2-1/3Dホログラム

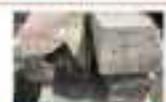


琉球王朝（常設展）
A-1/パネルボード

県民等の復興への参画促進への取組(首里城火災破損瓦等の活用)

首里城火災で焼け残った瓦や石材を首里城の思い出として活用したいとの声を受けて、希望者に対して破損瓦等を配布し、様々なイベントや活動を行ってもらうことで、首里城への「思い」を多くの方が共有し、形として残していくことを目的に実施。



	瓦	破瓦	石
平瓦	 配布枚数: 1000枚 配布期間: 2023年10月1日～2023年10月31日	 配布枚数: 1000枚 配布期間: 2023年10月1日～2023年10月31日	 配布枚数: 1000枚 配布期間: 2023年10月1日～2023年10月31日
丸瓦	 配布枚数: 1000枚 配布期間: 2023年10月1日～2023年10月31日	 配布枚数: 1000枚 配布期間: 2023年10月1日～2023年10月31日	 配布枚数: 1000枚 配布期間: 2023年10月1日～2023年10月31日
その他 (新瓦等)	 配布枚数: 1000枚 配布期間: 2023年10月1日～2023年10月31日	 配布枚数: 1000枚 配布期間: 2023年10月1日～2023年10月31日	 配布枚数: 1000枚 配布期間: 2023年10月1日～2023年10月31日
破瓦	 配布枚数: 1000枚 配布期間: 2023年10月1日～2023年10月31日	 配布枚数: 1000枚 配布期間: 2023年10月1日～2023年10月31日	 配布枚数: 1000枚 配布期間: 2023年10月1日～2023年10月31日
石材	 配布枚数: 1000枚 配布期間: 2023年10月1日～2023年10月31日	 配布枚数: 1000枚 配布期間: 2023年10月1日～2023年10月31日	注意事項 配布材の本数に 一対が限りあります。 お申し込みの際は、 必ずお申し込みください。



県民等の復興への参画促進への取組（ナンバープレート導入）

県では、「地方版図柄入りナンバープレート」の制度を活用し、首里城復興への願いを込めて、自動車ナンバープレートに「首里城」を取り入れることとしている。

県内から公募等により集まった171点（117名）のデザインから、有識者による審査会にて9作品に絞り、県内在住者を対象とした県民人気投票を実施した。

人気投票の結果、12,625件の投票があり、うち最多得票4,888票を獲得した下記のデザインが決定した。

首里城図柄入り 自動車ナンバープレートデザイン 最優秀賞



沖縄のナンバープレートにもなるので、沖縄を象徴するシーサーと首里城のイラストを用いました。左下には、首里城のある那覇市の花ブーゲンビリアを入れています。遠くからでも首里城の全体像が把握でき、ナンバーの視認性は損なわないように工夫しています。



令和4年11月25日
デザイン決定の発表と制作者表彰式を実施



※発行手数料に加え、1,000円以上の寄付をしていただきますと、フルカラー版の図柄入りナンバープレートが選択できます。

首里城図柄入りナンバープレートの発行は、令和5年10月頃を予定

県民等の復興への参画促進への取組（シンポジウム開催）

地域とともに豊かな未来社会をデザインする大学
 第14回 琉大未来共創フォーラム
 Island wisdom for the world, for the future.

沖縄県・沖縄県立芸術大学・琉球大学共催
**首里城再興学術
ネットワークシンポジウム
2022**

歴史文化・サイエンス・教育・まちづくりなど、首里城に関連した多様な研究や取組を共有します。

開催日時：
2022 11/13 SUN
 10:30～17:00
入場無料・事前申込制
 〒901-8211 沖縄県那覇市首里城跡3-4-1
会場：沖縄空手会館 研修室
定員：会場参加 50名
オンライン参加 300名

プログラム
 開会挨拶：波多野 辰 沖縄県立芸術大学長
 第1部：口頭発表（演者7名）10:30～
 第2部：ポスターセッション（発表15題）
 林の啓園会挨拶：玉城デニー 沖縄県知事
 空手演武 14:35～
 第3部：基調講演 14:50～
 「復元と文化遺産の価値—首里城正殿、
ノートルダム大聖堂、そしてウタライナ復興も
見直して」
 第4部：パネルディスカッション 15:45～
 「琉球文化遺産と首里のまちづくり」
 閉会挨拶：西田 敏 琉球大学長

基調講演 講演者：
 九州大学山崎研治院・主幹教授
 イコモス名誉会長
河野 俊行 氏

協力：一般財団法人沖縄未来共創財団、NPO法人重宝まちづくり研究会、首里空襲被害suikara
 後援：内閣府沖縄総合事務局、那覇市、一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー
 共同企画先：琉球大学 副学長兼戦略部 地域連携推進課
 Mail: shirakami@hawaii.uoakpu.ac.jp
 〒901-8211 沖縄県那覇市首里城跡3-4-1 琉球大学3号館301号室

沖縄空手会館
 はこちら
 Try Me!

県、琉球大学、県立芸術大学の三者共催により、行政、芸術、人材育成、学術の面から首里城復興と沖縄の歴史文化復興に関するシンポジウムを開催

日時：令和4年11月13日（日）

@空手会館（オンライン配信あり）



令和4年度首里城復興イベント概要

沖縄県

日々、復元・復興を続ける
首里城の姿を見に行こう

漆喰シーサーづくり

令和4年度 首里城復興イベント

首里城への想い

2023.2/18 土・19 日・25 土・26 日・3/4 土・5 日

開催場所 首里城公園内

首里城ナイトタイムコンテンツ

ものづくり体験イベント

今しか見れない
首里城を見に行こう！
首里城では復元・復興が盛ん
行われる姿を見たいです。
この機会にぜひ夜を見学してください。

首里城朝顔鑑賞
漆喰シーサーづくり
漆喰づくり

地域連携交流イベント

- 首里の伝統 演舞 → 琉球舞踏
- 琉球古謡音楽 → 琉球サバク・エイサー
- 首里まちお楽しみガイド

首里城
プロジェクションマッピング

首里城朝顔鑑賞

漆喰シーサーづくり

漆喰づくり

地域連携交流イベント

首里の伝統 演舞 → 琉球舞踏

琉球古謡音楽 → 琉球サバク・エイサー

首里まちお楽しみガイド

ものづくり体験・地域交流
会場：首里城公園（芝生広場）

R5. 2. 18-3. 5



漆喰シーサー作り



首里旗頭

ナイトタイムコンテンツ
会場：首里城公園（下之御庭・北城郭）

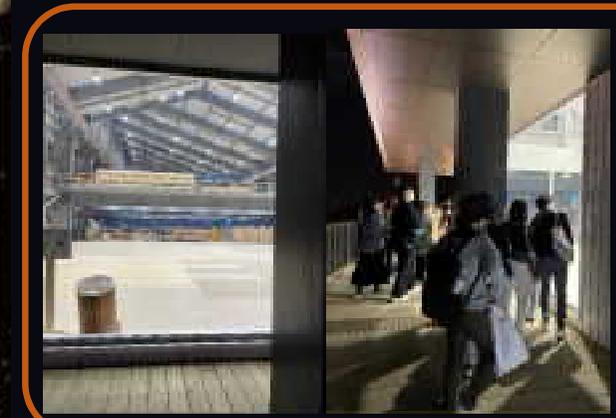
R5. 3. 4-3. 5



伝統芸能（組踊）



プロジェクションマッピング



「今しか見れない
首里城をガイド」

夜の木材倉庫の様
子や復興の現状を
ガイドが案内

首里城復興イベントについて 「いざ首里城 令和の木曳式」



令和首里城復興イベント

いざ 首里城 令和の木曳式

王国の伝統が、令和によみがえる。

令和4年
10/29(土)
11/3(木)

いざ首里城 令和の木曳式

※雨天中止

※雨天中止

※雨天中止

※雨天中止

SYURI NO UTA スペシャル動画

動画は首里城復興
サイトで視聴できます。



首里城復興サイト

- ・故事に倣った行事「木曳式」を実施し、首里城の完成を祈願し、復興への機運醸成を図る。
- ・寄付金を活用した木材のお披露目により、支援いただいた国内外の方々への感謝の意を示すとともに、復興に向け情報発信を行う。

御材木（おざいもく）
オキナワウラジロガシ
国頭村 楚洲（そす）にて採取
樹齢 98年 重量約4 t
長さ 約9m